

TOTO



フロア・サイド・トール・ウォールキャビネット

LBWB025・030・045A/B/CK型 LYWB025・030・045型
LTSWB015・025・030・045型 LWWB015・025・030・045型



商品の機能が十分に発揮されるように、この説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

1) 安全上のご注意



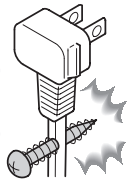


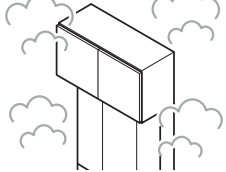

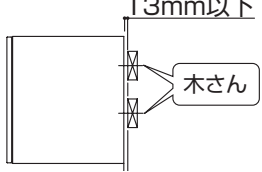


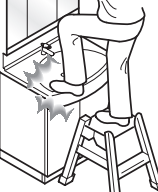

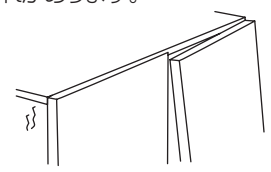
- 取り付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
- この説明書では、商品を安全に正しく取り付けいただくために、必ずお守りいただくことを、お知らせしています。使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

表示	意味
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

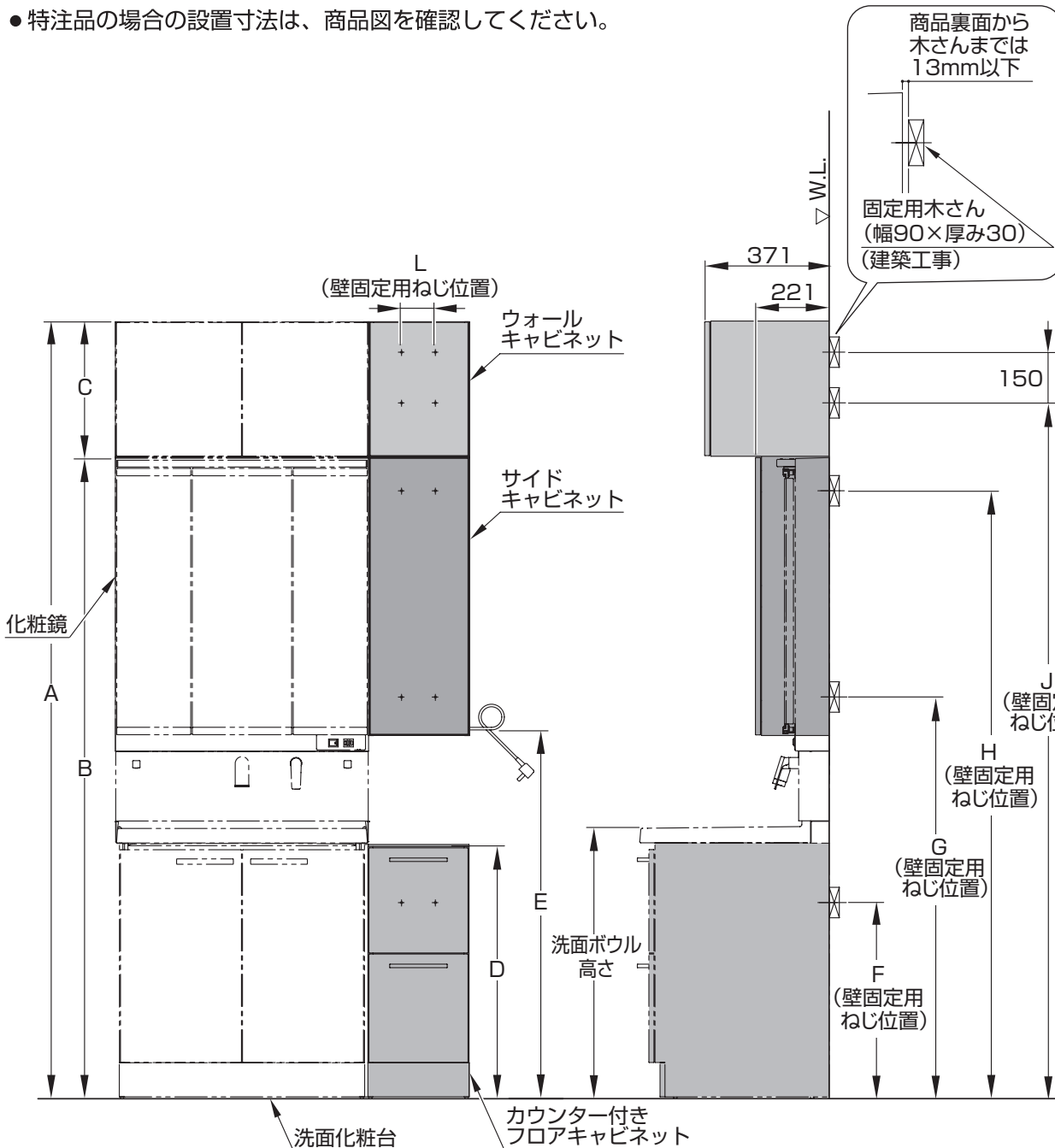
	この記号は、してはいけない「禁止」内容です。		この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。
---	------------------------	---	---------------------------

●取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取り付け完了後、引き渡し時にお客様にお渡しください。

警告			注意	
<p>電源コードを傷つけない 漏電および火災の原因になります。</p>   	<p>浴室など湿気の多い場所へ 設置しない 木部の膨潤、変形などによりキャビネットが外れてけがをするおそれがあります。</p>   	<p>壁固定用ねじ取り付け位置に 木さんを入れて補強する キャビネットが転倒、落下しけがをするおそれがあります。</p>  	<p>洗面ボウルの上にのらない 故障及び転落・転倒してけがをするおそれがあります。</p>   	<p>取り付け完了後、キャビネットの 固定・扉の傾き・がたつき・丁番の ゆるみがないかを必ず確認する 使用中にキャビネット・扉が落下してけがをするおそれがあります。</p>  

2) 設置寸法

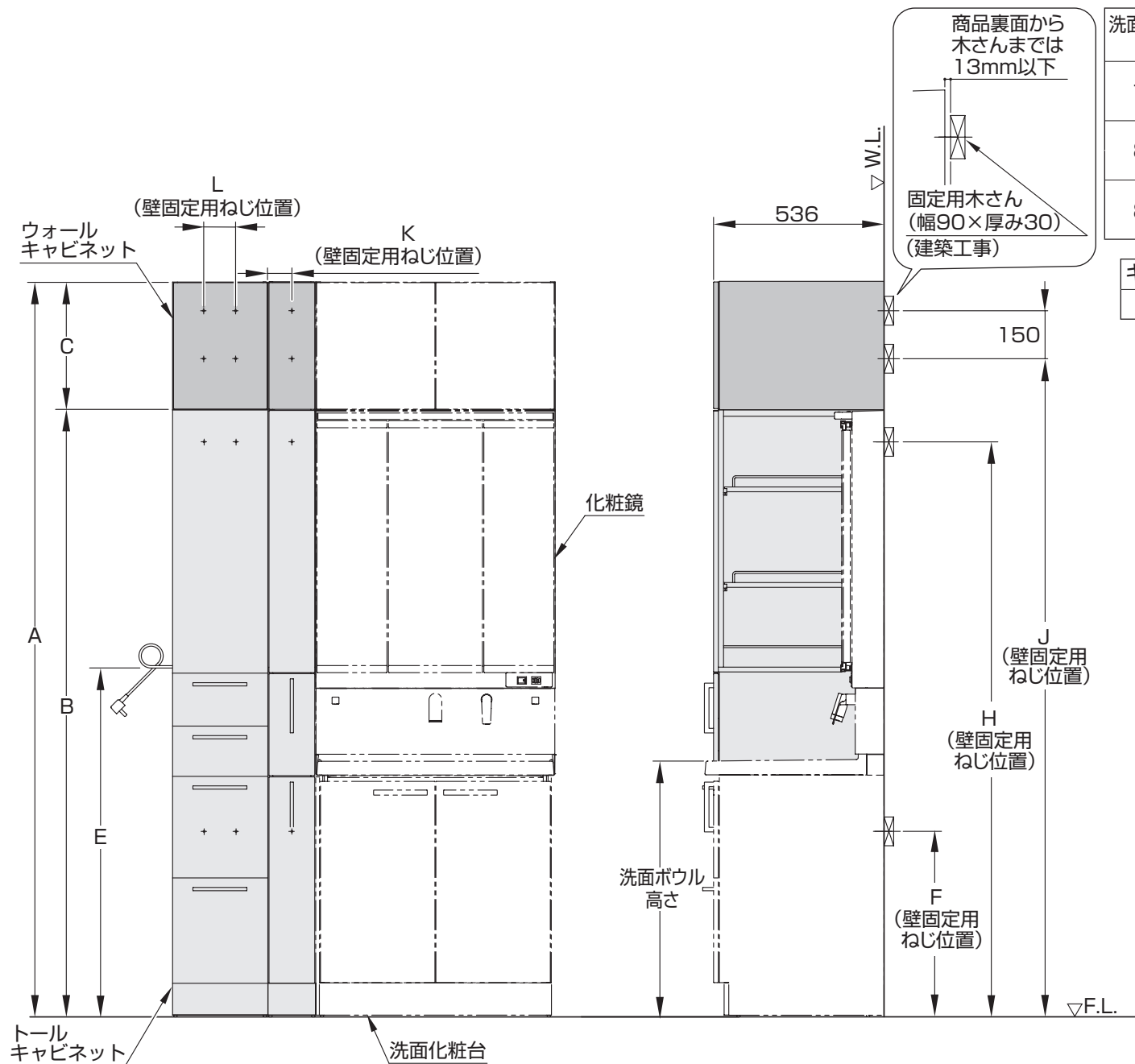
●特注品の場合の設置寸法は、商品図を確認してください。



洗面ボウル高さ	化粧鏡高さ	A	B	C	D	E	F	G	H	J
750	760	2040	1740	300	696	1090	510	1030	1640	1830
	2140	400		1900						
	870	2150	300	1940						
800	760	2090	1790	300	746	1140	560	1080	1690	1880
	2190	400		1950						
	870	2200	300	1990						
850	760	2140	1840	300	796	1190	610	1130	1740	1930
	2240	400		2000						
	870	2250	300	2040						
		2350	1950	400				1240	1850	2110

キャビネット間口寸法		L
250		100
300		100
450		250

2) 設置寸法(つづき)



洗面ボウル高さ	A	B	C	E	F	H	J
750	2150	1850	300	1090	510	1750	1940
	2250		400				2010
800	2200	1900	300	1140	560	1800	1990
	2300		400				2060
850	2250	1950	300	1190	610	1850	2040
	2350		400				2110

キャビネット間口寸法	K	キャビネット間口寸法	L
150	75	250	100
		300	100
		450	250

3) 設置上のご注意

- 湿気が多い場所では、木部が膨潤する原因になりますので設置しないでください。特に浴室には、設置しないでください。

重要

天井フィラーを取り付ける場合は、キャビネット設置前に天井フィラーの組立・設置説明書をご覧ください。

- 取り付けは必ず平滑な壁面としてください。

4) 取り付け条件

- 洗面化粧台を取り付ける床面、壁面はクロス貼りなどの仕上げを施してください。
- キャビネットの壁固定部分には、壁面に固定用木さんを入れてください。
※ウォールキャビネットは洗剤などが収納されるとかなりの重量になりますので地震などの際に落ちることのないように、壁固定用ねじ取り付け位置には、壁面に固定用木さんを入れてください。
(壁面に固定用木さんが取り付けられない場合は、設置壁の表面の全面に厚み12mm以上のJAS規格品の合板を強固に取り付けてください。)(建築工事)

※コンクリート壁の場合、現物に合わせて壁固定用ねじ位置に下穴をあけ、壁固定用ねじに合ったプラグ(引き抜き強度:1,000N以上/本)を打ち込んでおいてください。プラグは壁固定用ねじに合わせて現場にて準備してください。(プラグ用の下穴は必ずご使用プラグ指定のドリル径であけてください。)

5) トールキャビネット品番明細

ノーマルタイプ				
間口	洗面ボウル高さ	セット品番	品番明細	
			ミドルキャビネット	フロアキャビネット
150	750	LTSWB015ANL/R型	LLWB015GNL/R型	LBWB015ANG型
	800	LTSWB015BNL/R型		LBWB015BNG型
	850	LTSWB015CNL/R型		LBWB015CNG型
250	750	LTSWB025ANL/R型	LLWB025GNL/R型	LBWB025ANG型
	800	LTSWB025BNL/R型		LBWB025BNG型
	850	LTSWB025CNL/R型		LBWB025CNG型
300	750	LTSWB030ANL/R型	LLWB030GNL/R型	LBWB030ANG型
	800	LTSWB030BNL/R型		LBWB030BNG型
	850	LTSWB030CNL/R型		LBWB030CNG型
450	750	LTSWB045ANL/R型	LLWB045GNL/R型	LBWB045ANG型
	800	LTSWB045BNL/R型		LBWB045BNG型
	850	LTSWB045CNL/R型		LBWB045CNG型

ランドリータイプ				
間口	洗面ボウル高さ	セット品番	品番明細	
			ミドルキャビネット	フロアキャビネット
450	750	LTSWB045ACL/R型	LLWB045GCL/R型	LBWB045ACL/R型
	800	LTSWB045BCL/R型		LBWB045BCL/R型
	850	LTSWB045CCL/R型		LBWB045CCL/R型

6 付属部品明細

●カウンター付きフロアキャビネット ※ 取り付け要領…7)

名称		数量
壁固定用ねじ (φ5.2×55)		2本
連結用ねじ ※1 (φ3.5×38)		2本
天板固定用ねじ (φ4.5×14)		4本
化粧キャップ		2個
※1 スペーサー	大	1本
	小	1本
スペーサー取付用ねじ (φ3.5×12)		5本

●サイドキャビネット ※ 取り付け要領…8)

名称	数量
壁固定用ねじ (φ5.2×55)	4本
化粧キャップ	4個

●ウォールキャビネット ※ 取り付け要領…10)

名称	数量		
	奥行370 全サイズ	奥行540 間口150	奥行540 間口150以外
壁固定用ねじ (φ5.2×55)	4本	2本	4本
連結用ねじ ※2 (φ3.1×25)	2本	3本	4本
化粧キャップ	4個	2個	4個
パッキン	1個	1個	1個

●トールキャビネット (ノーマルタイプ) ※ 取り付け要領…9)

名称	数量	
	間口150	間口150以外
壁固定用ねじ (φ5.2×55)	1本	2本
連結用ねじ ※1 (φ3.5×38)	2本	2本
仕切板	4枚	—
化粧キャップ	1個	2個
パッキン	—	1個
※1 スペーサー	大	1本
	小	2本
スペーサー取付用ねじ (φ3.5×12)	7本	7本
コーナーカバー	1本	—

名称	数量	
	間口150	間口150以外
壁固定用ねじ (φ5.2×55)	1本	2本
連結用ねじ ※2 (φ3.1×25)	—	2本
すき間パッキン	1個	1個
棚受けダボ (筒型)	4個 うち2個は キャビネット 取り付け済み	—
棚受けダボ (L字型)	2個 うち1個は キャビネット 取り付け済み	—
棚受けダボ (L字型)	2個 うち1個は キャビネット 取り付け済み	—
化粧キャップ	1個	2個
水切りトレイ	1個	—
穴ふさぎ用 ※3 化粧キャップ	3個	—

●トールキャビネット(ランドリータイプ) ※ 取り付け要領…9)

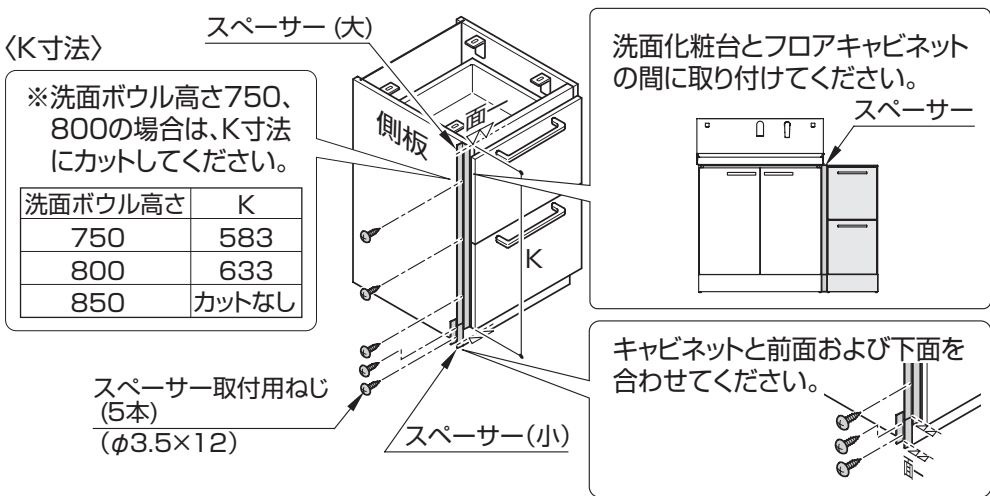
名称		数量
壁固定用ねじ (φ5.2×55)		2本
連結用ねじ ※1 (φ3.5×38)		2本
化粧キャップ		2個
網かご		1個
※1 スペーサー	大	1本
	小	2本
スペーサー取付用ねじ (φ3.5×12)		7本
パッキン		1個
壁固定用ねじ (φ5.2×55)		2本
連結用ねじ ※2 (φ3.1×25)		2本
化粧キャップ		2個
籐かご		1個
すき間パッキン		1個

- ※1：洗面化粧台に隣接する場合に使用します。
- ※2：隣接するキャビネットがない場合は、使用しません。
- ※3：壁に隣接する場合は、使用しません。

7 カウンター付きフロアキャビネットの取り付け (番号順に取り付けてください。)

① スペーサーの取り付け

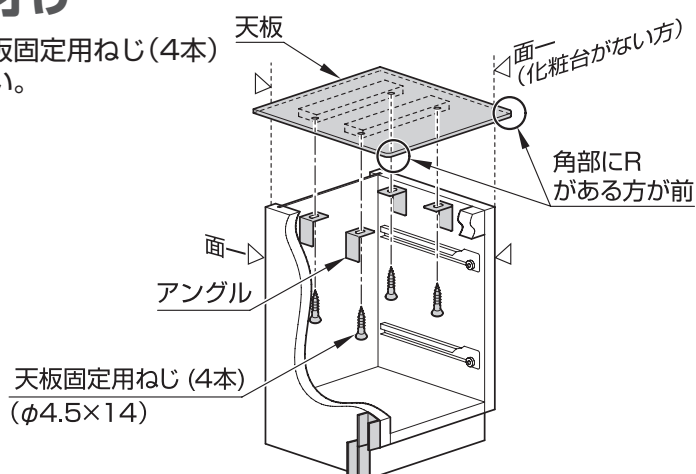
- 必ず洗面化粧台との間に、付属のスペーサーをスペーサー取付用ねじで取り付けてください。
- (1) 寸法を測定し、スペーサーをカットしてください。
- ※スペーサーは、カッターまたはシャーパーでカット可能です。



- キャビネットにスペーサーを合わせ、ねじ取り付け位置をけがいてください。
- けがき位置に下穴(φ2.5×5)をあけてください。
- スペーサーを下穴に合わせて、スペーサー取付ねじで取り付けてください。

② 天板の取り付け

- 天板をアングルに天板固定用ねじ(4本)で取り付けてください。

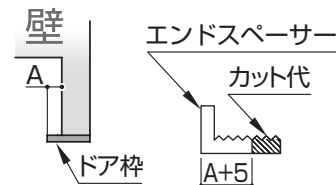


③ エンドスペーサーの取り付け (別売品)

- 設置レイアウトよりエンドスペーサーが必要な場合は、次の要領で別売品のエンドスペーサーを取り付けてください。
- (フロアキャビネット用エンドスペーサー……………LEWB030GBN1G)

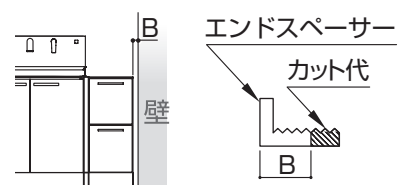
- (1) 寸法を測定し、エンドスペーサーをカットしてください。
- ※エンドスペーサー幅は最小5mm、最大30mm対応可能です。
- ※エンドスペーサーは、カッターまたはシャーパーでカット可能です。

〈ドア枠がある場合〉



- A寸法を測定し、エンドスペーサーを(A+5)mmにカットしてください。

〈すき間がある場合〉

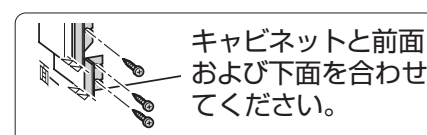


- エンドスペーサーを取り付けるキャビネットを所定の位置に仮置きしてください。
- 壁とのすき間B寸法を測定し、エンドスペーサーをB寸法にカットしてください。
- 仮置きしたキャビネットを取り外してください。

〈L寸法〉

- 洗面ボウル高さ750、800の場合は、L寸法にカットしてください。

洗面ボウル高さ	L
750	589
800	639
850	カットなし



- キャビネットにエンドスペーサーを合わせ、ねじ取り付け位置をけがいてください。
- けがき位置に下穴(φ2.5×5)をあけてください。
- エンドスペーサーを下穴に合わせて、取付ねじを取り付けてください。
- その際、エンドスペーサーの着脱ができるよう取付ねじの高さを調節してください。
- エンドスペーサーを取り外し、キャビネットを壁固定したあと、差し込んでください。

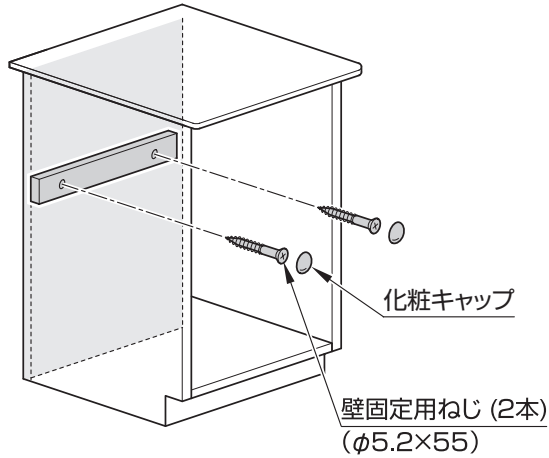
7) カウンター付きフロアキャビネットの取り付け (つづき)

4) キャビネットの取り付け

●裏板に開いたφ3の目印を目安に、付属の壁固定用ねじ(2本)で壁に確実に固定してください。

※壁がゆがんでいたり、キャビネット本体がゆがんで取り付けますので、ライナー(現場調達)を入れて垂直に固定してください。

※コンクリート壁の場合、現場に合わせて壁固定用ねじ位置に下穴をあけ、壁固定用ねじに合ったプラグ(引き抜き強度:1000N以上/本)を打ち込んでおいてください。プラグは壁固定用ねじに合わせて現場にて準備してください。(プラグ用の下穴は必ず使用プラグ指定のドリル径であけてください。)

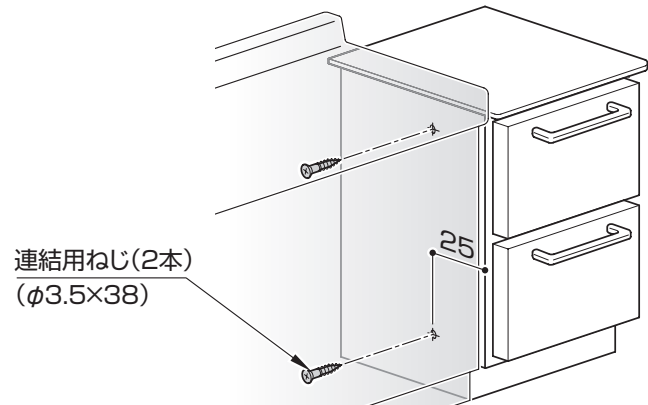


5) キャビネットの連結

●隣接するキャビネットの内側から付属の連結用ねじでキャビネットを固定してください。

※隣接するキャビネットと前面を面一にすき間のないように固定してください。

※連結用ねじで固定する時は、下穴を設けてください。



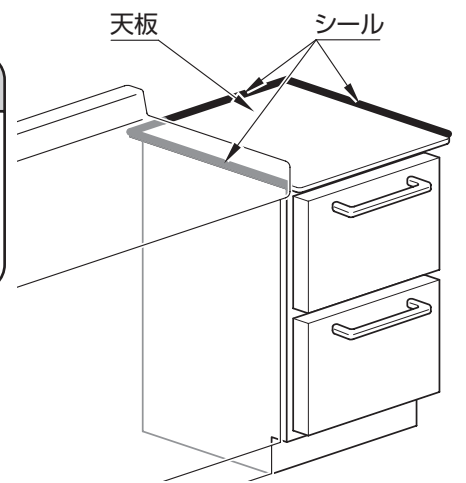
6) 壁とのすき間処理

●天板と壁またはキャビネットの突き合わせ部をシリコンシール剤でシールしてください。

注意

シールしないと突き合わせ部から水が浸入し、キャビネットや壁・床を傷める場合があります。

必ず実行

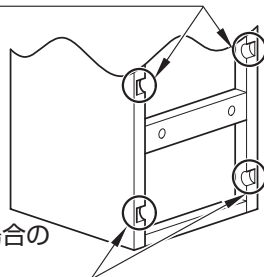


8) サイドキャビネットの取り付け (番号順に取り付けてください。)

1) 電源コードの取り出し

●サイドキャビネットの裏を電源コードが通る場合は、サイドキャビネットの裏面を化粧鏡のコード取り出し位置に合わせてマイナスドライバーで化粧板側(外側)から突き破ってください。

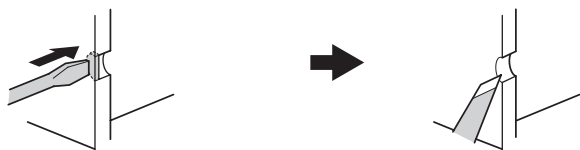
化粧鏡全高760mmの場合のコード取り出し部



化粧鏡全高870mmの場合のコード取り出し部

化粧板側(外側)から突き破る
(※内側から突くと化粧板が欠けます。)

ナイフで仕上げをする。

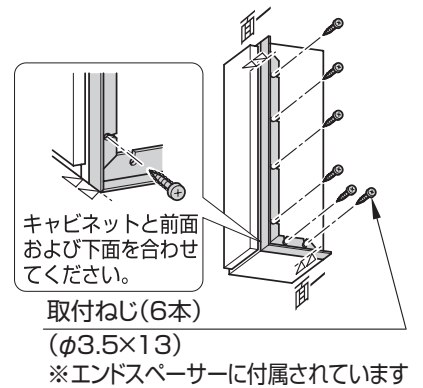


(2)キャビネットにエンドスペーサーを合わせ、ねじ取り付け位置をけがいてください。

(3)けがき位置に下穴(φ2.5×5)をあけてください。

(4)エンドスペーサーを下穴に合わせ、取付ねじを取り付けてください。その際、エンドスペーサーの着脱ができるよう取付ねじの高さを調節してください。

(5)エンドスペーサーを取り外し、キャビネットを壁固定したあと、差し込んでください。



2) エンドスペーサーの取り付け (別売品)

●設置レイアウトよりエンドスペーサーが必要な場合は、次の要領で別売品のエンドスペーサーを取り付けてください。

(サイドキャビネット用エンドスペーサー.....LEWB030GYN1G)

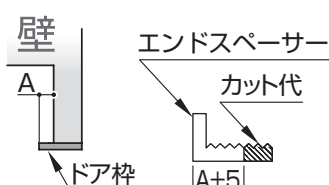
(1)寸法を測定し、エンドスペーサーをカットしてください。

※エンドスペーサー幅は最小5mm、最大30mm対応可能です。

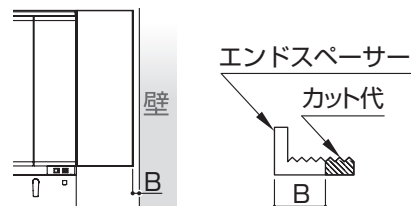
※エンドスペーサーは、カッターまたはシャーパーでカット可能です。

〈ドア枠がある場合〉

〈すき間がある場合〉



●A寸法を測定し、エンドスペーサーを(A+5)mmにカットしてください。



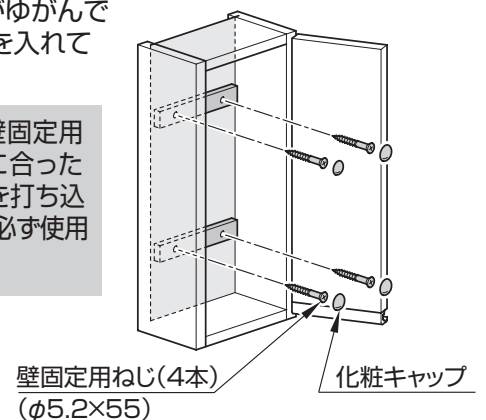
●エンドスペーサーを取り付けるキャビネットを所定の位置に仮置きしてください。
●壁とのすき間B寸法を測定し、エンドスペーサーをB寸法にカットしてください。
●仮置きしたキャビネットを取り外してください。

3) キャビネットの取り付け

●付属の壁固定用ねじ(4本)で壁に確実に固定してください。

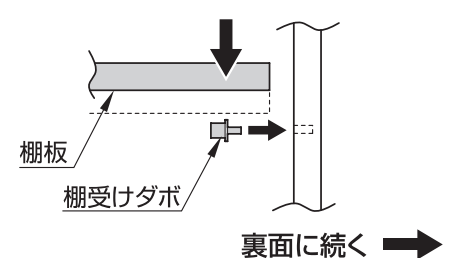
※壁がゆがんでいたり、キャビネット本体がゆがんで取り付けますので、ライナー(現場調達)を入れて垂直に固定してください。

※コンクリート壁の場合、現物に合わせて壁固定用ねじ位置に下穴をあけ、壁固定用ねじに合ったプラグ(引き抜き強度:1000N以上/本)を打ち込んでおいてください。(プラグ用の下穴は必ず使用プラグ指定のドリル径であけてください。)



4) 棚板の取り付け

●棚受けダボを棚受けダボ用穴に差し込み、棚板をのせてください。



9) トールキャビネットの取り付け (番号順に取り付けてください。)

1) スペースの取り付け

- 必ず洗面化粧台との間に、付属のスペースを洗面化粧台側にスペース取付用ねじで取り付けてください。
- (1)寸法を測定し、スペースをカットしてください。
- ※スペースは、カッターまたはシャーパーでカット可能です。

〈K寸法〉

※洗面ボウル高さ750、800の場合は、K寸法にカットしてください。

洗面ボウル高さ	K
750	599
800	649
850	カットなし

- 洗面化粧台にスペースを合わせ、ねじ取り付け位置をけがいてください。
- けがき位置に下穴(φ2.5×5)をあけてください。
- スペースを下穴に合わせて、スペース取付ねじで取り付けてください。

2) すき間パッキンの取り付け

- 付属のすき間パッキンをカットして洗面ボウルに貼り付けてください。

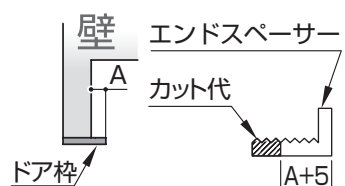
4) ミドルキャビネットの連結 (つづき)

〈間口 150 以外の場合〉

5) エンドスペースの取り付け (別売品)

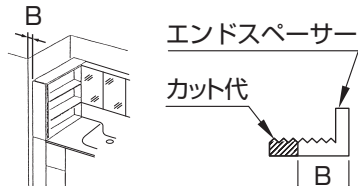
- 設置レイアウトよりエンドスペースが必要な場合は、次の要領で別売品のエンドスペースを取り付けてください。
- (トールキャビネット用エンドスペース...LEWB030GTT1G)
- (1)寸法を測定し、エンドスペースをカットしてください。
- ※エンドスペース幅は最小5mm、最大30mm対応可能です。
- ※エンドスペースは、カッターまたはシャーパーでカット可能です。

〈ドア枠がある場合〉



- A寸法を測定し、エンドスペースを(A+5)mmにカットしてください。

〈すき間がある場合〉



- エンドスペースを取り付けるキャビネットを所定の位置に仮置きしてください。
- 壁とのすき間B寸法を測定し、エンドスペースをB寸法にカットしてください。
- 仮置きしたキャビネットを取り外してください。

3) 電源コードの取り出し

- トールキャビネットの裏を電源コードが通る場合は、トールキャビネットの裏面を化粧鏡のコード取り出し位置に合わせマイナスドライバーで化粧板側(外側)から突き破ってください。

4) ミドルキャビネットの連結

- フロア部のダボにミドル部のダボ穴を合わせて、セットしてください。

〈間口 150 の場合〉

- コーナーカバーを取り付けてください。

〈L寸法〉

洗面ボウル高さ	L
750	923
800	973
850	カットなし

キャビネットと前面および下面を合わせてください。

- キャビネットにエンドスペースを合わせ、ねじ取り付け位置をけがいてください。
- けがき位置に下穴(φ2.5×5)をあけてください。
- エンドスペースを下穴に合わせて、取付ねじを取り付けてください。
- その際、エンドスペースの着脱ができるよう取付ねじの高さを調節してください。
- エンドスペースを取り外し、キャビネットを壁固定したあと、差し込んでください。

6) キャビネットの取り付け

- 付属の壁固定用ねじで壁に確実に固定してください。
- ※壁がゆがんでいると、キャビネット本体がゆがんで取り付けますので、ライナー(現場調達)を入れて垂直に固定してください。

※コンクリート壁の場合、現物に合わせて壁固定用ねじ位置に下穴をあけ、壁固定用ねじに合ったプラグ(引き抜き強度:1000N以上/本)を打ち込んでおいてください。(プラグ用の下穴は必ず使用プラグ指定のドリル径であけてください。)

〈間口 150 のみ〉

- 壁に隣接しない場合は、付属の穴ふさぎ化粧キャップを取り付けてください。

9) トールキャビネットの取り付け (つづき)

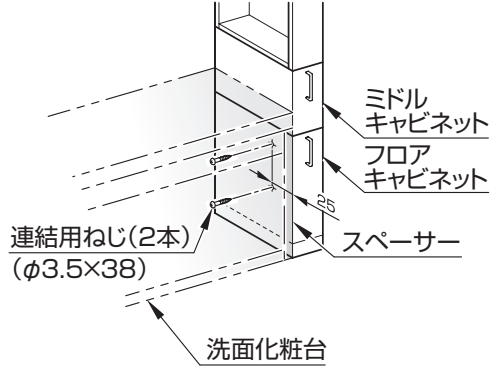
7) キャビネットの連結(隣接するキャビネットがある場合)

- 連結用ねじで固定する時は、下穴を設けてください。

※トールキャビネットは、水かかりでおこる木部変形を防ぐため、コーナーカバーを取り付けています。
トールキャビネット同士で連結するとキャビネットにコーナーカバーが挟まれ、すき間が発生します。

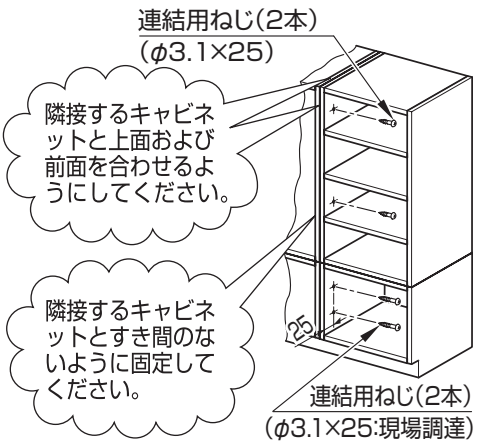
〈洗面化粧台と連結する場合〉

- 隣接する洗面化粧台の内側から付属の連結用ねじ(2本)でキャビネットを固定してください。



〈洗面化粧台以外と連結する場合〉

- キャビネットの内側より付属の連結用ねじで隣接するキャビネットと固定してください。

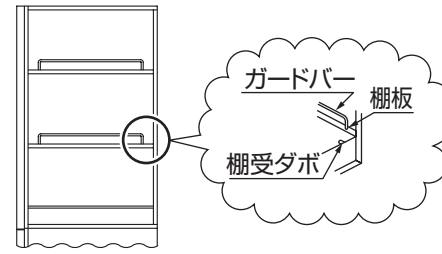


※フロアキャビネットに同梱されている連結用ねじ(φ3.5x38)を使用すると連結用ねじが貫通するので使用しないでください。

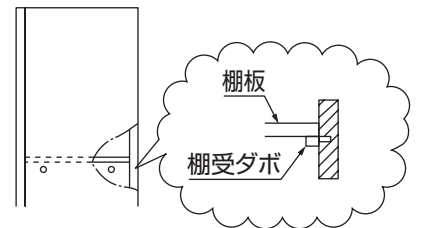
8) 棚板・ガードバーの取り付け

- 棚受けダボを棚受けダボ用穴に差し込み、棚板をのせてください。

〈間口 150 の場合〉



〈間口 150 以外の場合〉



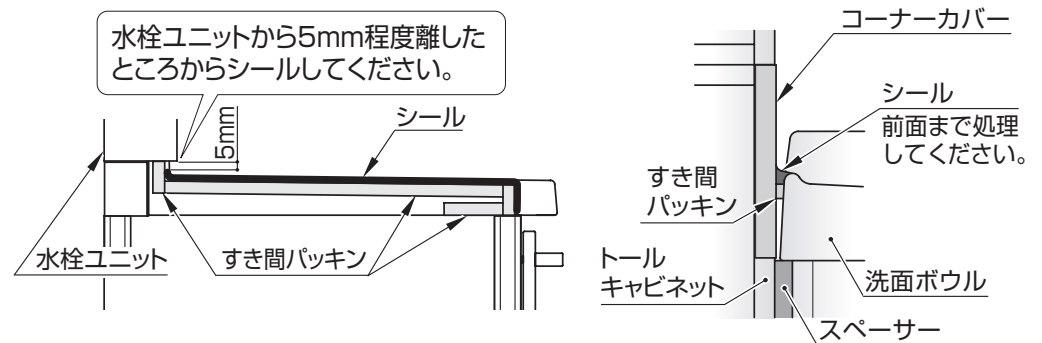
9) 洗面ボウルとのすき間処理

- カウンターとトールキャビネットの突き合わせ部分をシリコンシーリング剤でシーリングしてください。

注意



必ず実行 シールしないと突き合わせ部から水が浸入し、キャビネットや壁・床を傷める場合があります。



10) ウォールキャビネットの取り付け (番号順に取り付けてください。)

1) エンドスペーサーの取り付け (別売品)

- 設置レイアウトよりエンドスペーサーが必要な場合は、次の要領で別売品のエンドスペーサーを取り付けてください。

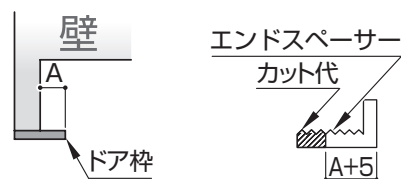
(トール用ウォールキャビネット用エンドスペーサー…LEWBO30GWT1G)
(ウォールキャビネット用エンドスペーサー…LEWBO30GWN1G)

(1) 寸法を測定し、エンドスペーサーをカットしてください。

※エンドスペーサー幅は最小5mm、最大30mm対応可能です。

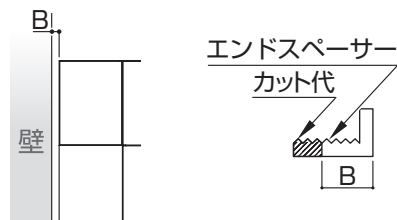
※エンドスペーサーは、カッターまたはシャーパーでカット可能です。

〈ドア枠がある場合〉



- A寸法を測定し、エンドスペーサーを(A+5)mmにカットしてください。

〈すき間がある場合〉

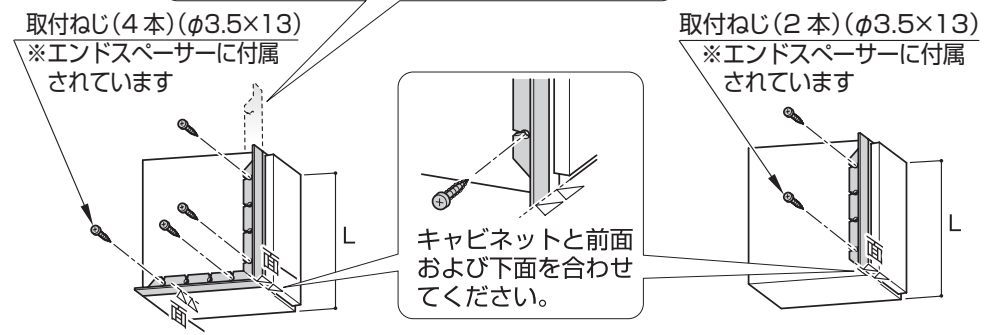


- エンドスペーサーを取り付けるキャビネットを所定の位置に仮置きしてください。
- 壁とのすき間B寸法を測定し、エンドスペーサーをB寸法にカットしてください。
- 仮置きしたキャビネットを取り外してください。

〈L寸法〉

※キャビネット高さ300mmの場合はL寸法にカットしてください。

キャビネット高さ	L
300	300
400	カットなし

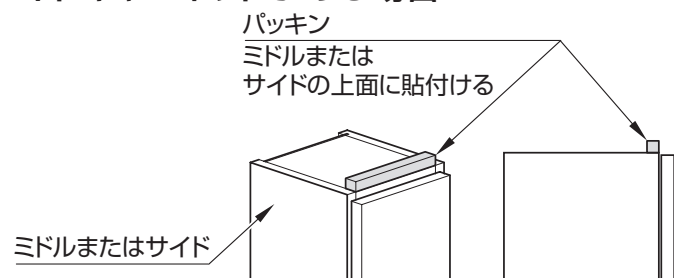


〈トール用ウォールキャビネットの場合〉

- (2) キャビネットにエンドスペーサーを合わせ、ねじ取り付け位置をけがいてください。
- (3) けがき位置に下穴(φ2.5x5)をあけてください。
- (4) エンドスペーサーを下穴に合わせ、取付ねじを取り付けてください。
その際、エンドスペーサーの着脱ができるよう取付ねじの高さを調節してください。
- (5) エンドスペーサーを取り外し、キャビネットを壁固定したあと、差し込んでください。

2) パッキンの取り付け

〈ウォールキャビネットの下にミドルキャビネットまたはサイドキャビネットがある場合〉



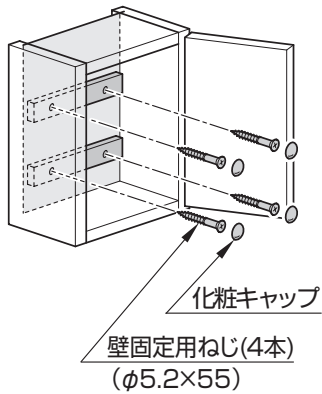
10) ウォールキャビネットの取り付け (つづき)

③ キャビネットの取り付け

• 付属の壁固定用ねじ(4本)で壁に確実に固定してください。

※壁がゆがんでいると、キャビネット本体がゆがんで取り付けますので、ライナー(現場調達)を入れて垂直に固定してください。

※コンクリート壁の場合、現物に合わせて壁固定用ねじ位置に下穴をあけ、壁固定用ねじに合ったプラグ(引き抜き強度: 1000N以上/本)を打ち込んでおいてください。プラグは壁固定用ねじに合わせて現場にて準備してください。(プラグ用の下穴は必ず使用プラグ指定のドリル径であけてください。)



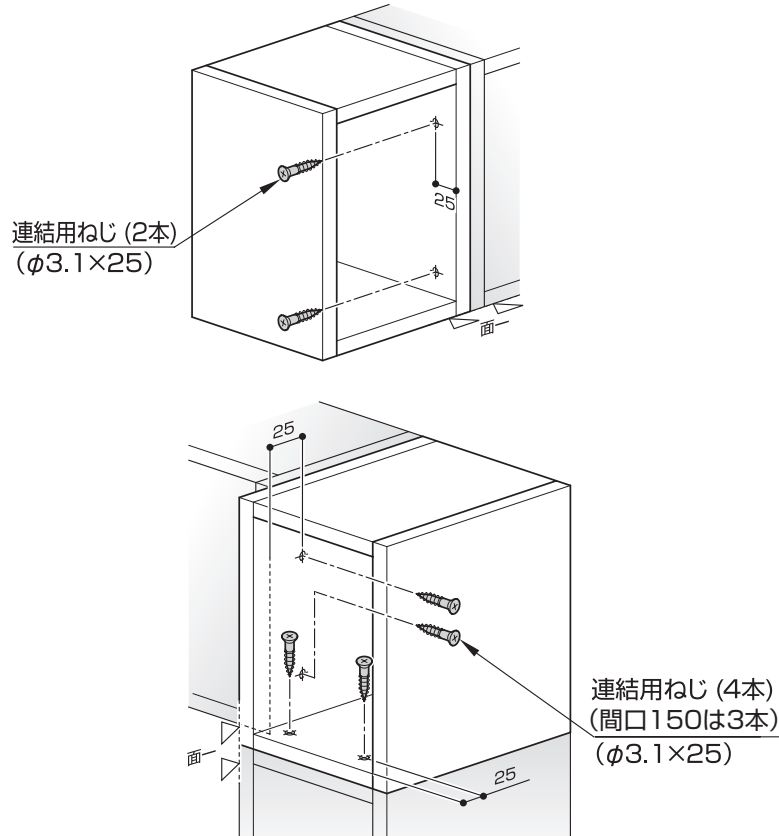
④ キャビネットの連結

• 隣接するキャビネットの内側から付属の連結用ねじでキャビネットを固定してください。

※隣接するキャビネットと前面を面一にすき間のないように固定してください。

※取付ねじで固定する時は、下穴を設けてください。

〈トール用ウォールキャビネットの場合〉



11) 取り付け完了後の確認と清掃

- キャビネットが壁に完全に固定されているか確認してください。
- 扉・前板の傾き・がたつきなど丁番・レールのゆるみがないことを確認してください。

【調整要領】

⚠ 注意

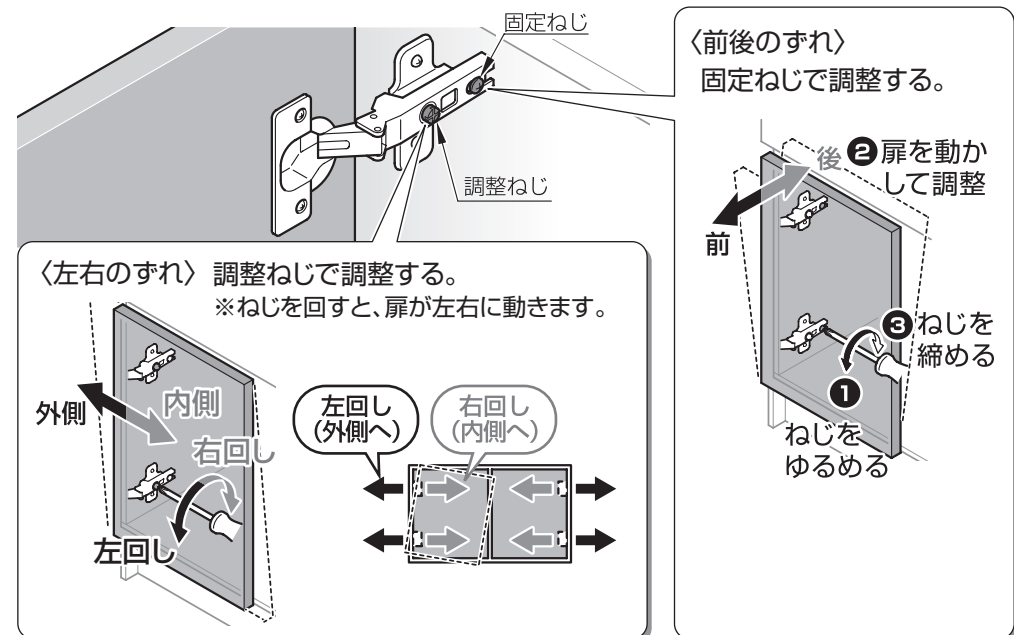


電動ドライバー禁止

部材が破損し扉の脱落につながり、けがをするおそれがあります。

〈扉の丁番調整のしかた〉

■フロアキャビネット(ランドリータイプ)



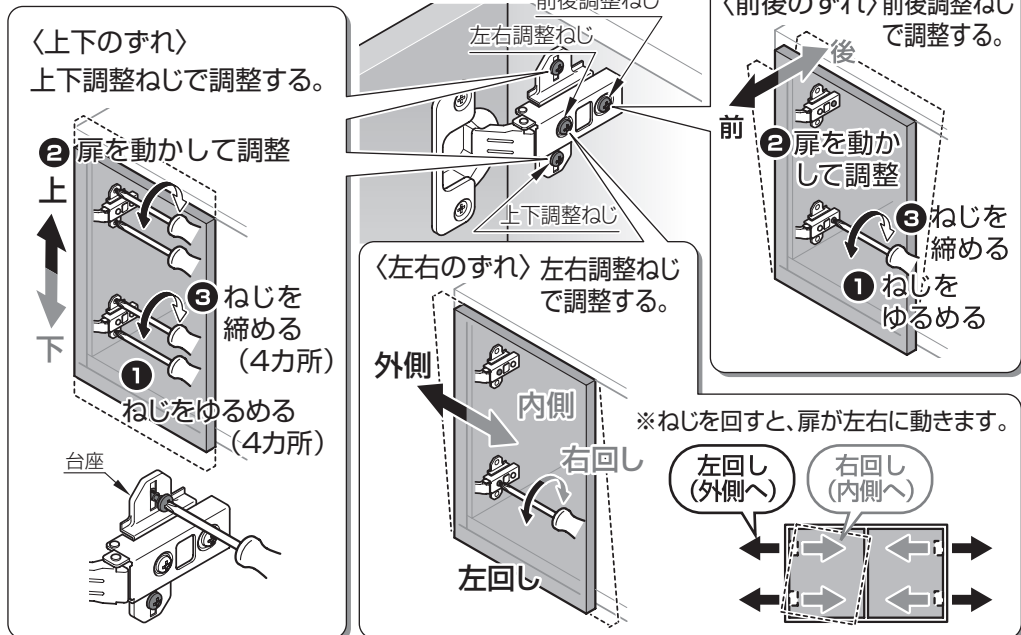
⚠ 注意



調整後、固定ねじをしっかりと締め付けて、ゆるみがないことを確認する

必ず実行 扉が外れて、けがをするおそれがあります。

■フロアキャビネット(ランドリータイプ)以外



⚠ 注意

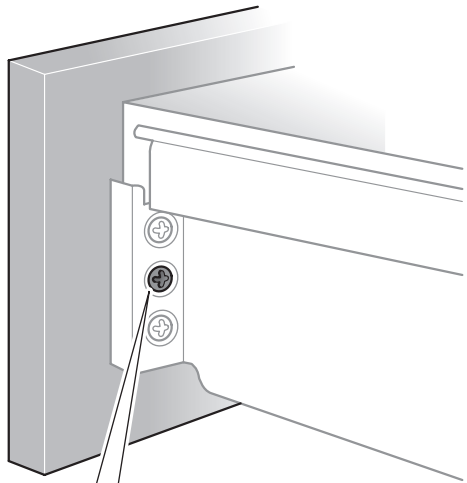


調整後、上下調整ねじをしっかりと締め付けてゆるみがないことを確認する

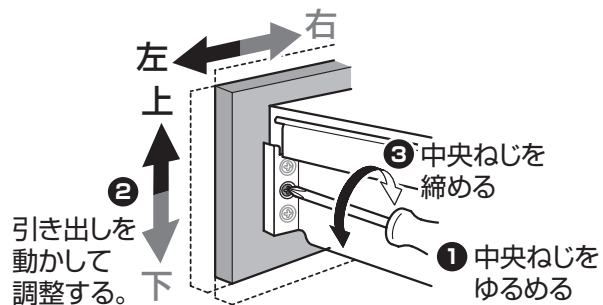
必ず実行 扉が落下してけがをするおそれがあります。

11) 取り付け完了後の確認と清掃 (つづき)

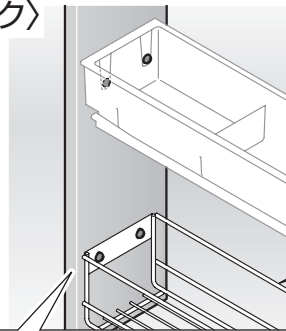
〈樹脂製引き出し〉



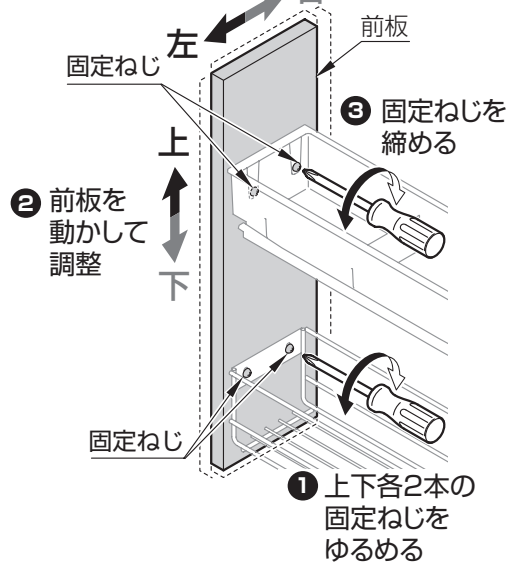
〈上下・左右のずれ〉
中央ねじ(左右2カ所)をゆるめて調整する。
※±2mm調整できます。
(上下のねじはゆるめない。)



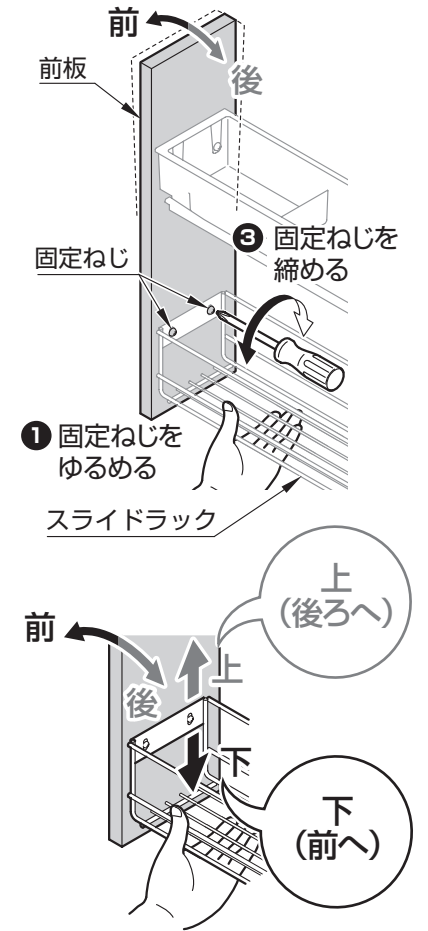
〈スライドラック〉



〈上下・左右のずれ〉
前板で調整する。
※±2mm調整できます。



〈前後のずれ〉
スライドラックで調整する。
※±2mm調整できます。



⚠ 注意



調整後は必ず、中央ねじ(左右2カ所)を締め付ける
引き出し前板が落下してけがをするおそれがあります。

必ず実行

⚠ 注意

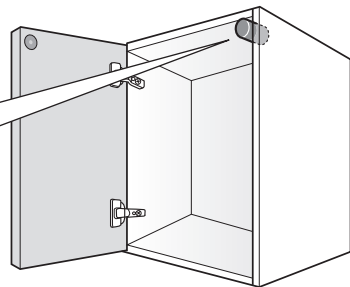
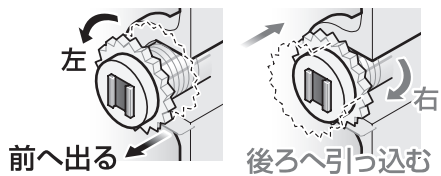


調整後は必ず、固定ねじを締め付ける
引き出し前板が落下してけがをするおそれがあります。

必ず実行

〈プッシュラッチの調整〉

〈前後のずれ〉
プッシュラッチを回して調整する。
※扉が開かない場合は、左へ回してください。



- 扉が開閉するか確認してください。
- 棚受けダボの抜けがないか確認してください。
- 商品についた汚れ(プラスチック部品の静電気による黒い汚れを含む)は、ぬれた布をかたくしぼってふき取ってください。
その後、水で湿らせた布に少量の中性洗剤をつけてふき上げ、最後にからぶきしてください。

重要

シンナー・ベンジン・除光液などの使用は表面を変色・変質させますので、絶対に使用しないでください。

- 直射日光にさらされる場合は、必ずカーテンなどで遮ってください。